



# 雪崩・地すべり 研究センターたより

第67号  
2014. 3月発行

Snow Avalanche and Landslide Research Center, Erosion and Sediment Control Research Group

主な記事 ・ 関東甲信・東北の記録的大雪による雪崩災害に対する技術支援 ・ 新潟県地すべり対策研究会災害対策部会「新潟県柏崎市西山町崩壊調査」 ・ トピックス ・ 転出者あいさつ

## 関東甲信・東北の記録的大雪による雪崩災害に対する技術支援

2月14日からの関東甲信から東北地方を襲った記録的な大雪で、集落の孤立状態、交通・物流の混乱、雪崩災害の危険性などが続きました。このため、当センターには関係各機関から雪崩災害に対する技術支援の要請がありました（表-1）。

表-1 技術支援

要請機関	現地調査日	対応者
国土交通省東北地方整備局 仙台河川国道事務所	2月16～17日 2月19日 2月24日	伊東 池田
埼玉県	2月21日 2月25日	秋山(所長) 伊東
群馬県	2月22日	伊東 池田
山梨県	2月21～23日	秋山(所長)
埼玉県	2月25日	秋山(所長)



2/22 現地調査の状況(山梨県南アルプス市)



2/22 記者発表の様子

技術支援では、各関係機関の技術者と当センターの職員が地表からの調査及びヘリコプターによる上空からの調査を実施し、雪崩危険箇所の把握と今後の対応について協議等を行いました。

なお、山梨県横内知事からは、技術支援に対して感謝状をいただきました。

## 新潟県地すべり対策研究会災害対策部会「新潟県柏崎市西山町崩壊調査」

12月7日21時20分頃、新潟県柏崎市西山町長峰地区で、長雨により人家裏の斜面が崩壊し1名の犠牲者が出ました。12月9日に実施された新潟県地すべり対策研究会災害対策部会による調査には、新潟県(砂防課、治山課、農地建設課)、日本地すべり学会新潟支部、国土交通省(北陸地方整備局)、NPO新潟県砂防ボランティア協会、新潟県地すべり防止工事士会



新潟県柏崎市西山町の崩壊



記者発表の様子

の方々と、当センターの秋山所長、桂、畠田が参加しました。調査後、今後の対応について技術的指導・助言、記者発表がそれぞれ行われました。

## トピックス

### ■雪崩災害防止セミナー

12月11日に、長野県飯山市で雪崩災害防止功勞者表彰式及び雪崩災害防止セミナーが開催されました(主催(独)土木研究所、共催:長野県、後援:国土交通省)。雪崩災害防止功勞者表彰式では、当センターの第11代所長下村忠一氏(当時は新潟試験所)が長年の雪崩対策に対する貢献により表彰されました。また、セミナーでは新潟大学 災害・復興科学研究所 和泉教授による「長野県における雪崩災害の過去・現在及び今後」と題する講演に続いて、当センターの秋山所長による「雪崩に関する基礎知識」、長野県建設部砂防課忠地主任による「長野県の雪崩対策について」、当センターの伊東主任研究員による「連続体モデルを用いた雪崩運動シミュレーションの開発」、寒地土木研究所雪氷チーム松下研究員による「地震による雪崩リスク評価技術について」の各話題提供を行いました。



表彰された当センター第11代所長下村忠一氏

### ■地すべり防止施設点検学習会

12月12～13日に、国土交通省利根川水系砂防事務所、群馬県砂防課主催による「第8回地すべり防止施設点検学習会」が群馬県藤岡市で開催されました。この学習会は、関東甲信地区の国、都県、研究機関の地すべり担当者が、地すべり防止施設の維持管理手法について学習するものです。12日には、土木研究所による講義・討論として、当センターの丸山研究員による「地すべり防止施設の維持管理—地表水・地下水排除施設—」と題しての講義、地すべりチームの千田総括主任研究員と杉本主任研



究員による「地すべり防止施設の維持管理に向けての今後必要な調査・検討」と題する討論がそれぞれ行われました。また、13日には、地すべり観測機器による計測の実習や集水井工事現場と少林山地すべりの視察が行われました。

### ■積雪断面観測講習会

1月21日に、第3回の積雪断面観測講習会が新潟県と妙高市の各職員(参加者12名)を対象に開催されました。積雪断面観測講習会は、降雪から融雪に至る雪粒の変化や強度の変化、雪の層構造などを座講と実習を通して、積雪や雪崩に関する知識取得することで雪崩防災技術の向上



に役立てていただくことを目的としています。講習会では、午前中に当センター会議室で積雪の基本的性質及び積雪観測の方法に関する座講を、午後には妙高市西野谷の砂防公園で積雪観測の実習を各々受けていただきました。

### ■転出者あいさつ

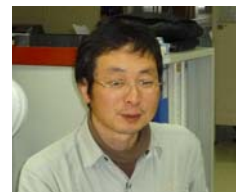
#### ■主任研究員 伊東靖彦 (H23.4～H26.3在籍)

2011年4月より3年間、雪崩のテーマに従事していましたが4月1日付で札幌・寒地土木研究所に転出になりました。1昼夜で1mを越える大雪など、センターでの経験を活かしていきたいと思っております。ありがとうございました。



#### ■交流研究員 畠田和弘 (H24.4～H26.3在籍)

交流研究員として2年間お世話になりました。赴任早々、国川地すべりの応急対応に参加させていただいたほか、多数の融雪地すべり研究の機会をいただき、貴重な知見を得ることが出来ました。微力ではありますが、センターでの経験を生かし今後も土砂災害の軽減のため努力していく所存です。また、新潟県、長野県の関係者の皆さまにはたいへんお世話になりました。深く感謝いたします。



雪崩・地すべり研究センターに関する記事は、ホームページにも掲載してありますので、ご覧ください。

発行:独立行政法人 土木研究所 つくば中央研究所  
土砂管理グループ 雪崩・地すべり研究センター

住所:〒944-0051 新潟県妙高市錦町2-6-8  
TEL:0255-72-4131 FAX:0255-72-9629 URL:<http://www.pwri.go.jp>  
掲載内容は現時点までの調査結果等に基づいています。今後の調査研究により内容の一部または全部に変更が生じる場合があることをご了承下さい。